

第14日 企業経営の諸側面と知財マネジメント

- 1 【○】 共同研究とは、企業等の研究者・技術者と大学等の教員・研究スタッフが共通の課題について対等の立場で研究することである。

【解説】 p. 214 大学と企業は得意分野が異なるので、それをすり合わせることでより新しい知を生み出すことが有効である。

- 2 【○】 委託研究（大学からは受託研究と呼ぶ）とは、企業には知見がない分野の研究が必要になったとき、その分野で知見のある大学等に研究資金等を渡して研究してもらうことである。

【解説】 p. 214 大学からみれば受託研究である。

- 3 【×】 職務発明の対価について、従業員と企業の間でトラブルが増えることが増えていることから、企業としては問題が起きないように、とにかく統制強化だけに注意を払うべきである。

【解説】 p. 213 職務発明の対価については、使用者と従業者で自主的に取り決めることが必要である。